



発行：NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F

Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール: info@danishforum.jp

～カレン ブリクセンの生家を訪ねる～

‘アフリカの日々’はメリルストリープ、ロバートレッドフォードの共演で邦画名‘愛と哀しみの果て’(ユニバーサル映画製作)として、‘バベットの晩餐’(パノラマフィルム製作)と共に日本でも公開されました。繊細でありながら、大胆で力強く生きようとする女性の生き方をその多くの作品中のテーマとし、むしろ彼女の死後、世界的に高い評価を受けています。作中の女性像はある部分作家自身の自伝的側面も持ちながら、豊かな想像力、繊細な描写で現代女性の心を見事に描いて年ごとに多くの読者を魅了しています。

カレン ブリクセンはかつてデンマークでもそれほど高名な作家ではなかったのですが、現在ではデンマークを代表する作家として認知され、デンマークで現在使われている50クローネ紙幣にも彼女の肖像画が使われています。1950年代米国ではじめて作品が出版された際には、アイザック デイナーセン(アイツァック=イサク=男性名)というペンネームでありましたので、読者は作家を男性だと思っていたという逸話もあります。今回のニュースでは、コペンハーゲン郊外に(現在は記念館として公開されている)作家の生家を御紹介します。デンマークに旅する時、この孤高の女性作家の生き方をたずねてみるのも小さな感動を生む旅程になるかもしれませんから。



カレン・ブリクセン 1885—1962
(Baroness Karen von Blixen-Finecke)
20世紀デンマークを代表する小説家。
代表作に
‘アフリカの日々’(Out of Africa)
‘バベットの晩さん会’(Babettes dinner)

カレンブリクセンの実家は、コペンハーゲンから列車で北へ約一時間ほどの郊外、シェラン島の北端、クロンボー城のあるエルシノアにいたる街道沿い、カテガット海に面したルングシュテットルトという駅から10分ほど歩いたところにあります。作家の実家デイナーセン家は19世紀から旅館を営む富裕な家族でした。カレンはスウェーデンの零落した男爵家の嫡であったブルルブリクセン男爵と出会い結婚し、ブリクセン男爵夫人となったのです。その後、デイナーセン家の財力を頼りに、二人はアフリカのケニアに渡り農園経営を試みます。夫であるブルルの不貞や放蕩、困難な農園経営のなかでカレンは奮闘しますが状況は好転することはありませんでした。そんな日々の中でカレンは生涯の友であり、また恋人ともなった英国人デニス フィンチ ハットンと出会います。農園の経営危機、夫ブルルから感染した梅毒との闘病と回復など苦難の連続の中で、デニスとの関係はカレンにとってまさにかけがえのないものへと発展してゆきます。そして飛行機事故によるデニスの死、農園の経営破綻、傷心のカレンはアフリカを去って、故国デンマークへと帰り、ルングシュテットルトの実家で執筆生活に入ります。孤独と闘いながら作家はしかし、次々に独特の作品世界を紡ぎだしてゆきます。作家アイザックデイナーセンとして米国で作品が出版されるようになると、母国デンマークより先に米国で(特に女性を中心に)多くの読者を得るようになってゆきます。俳優としてその絶頂にあり、すぐれた映画プロデューサーでもあったロバートレッドフォードもこの作品に注目し、ユニバーサル映画社でカレン(アイザックデイナーセン)の代表作であるOut of Africa(晶文社 アフリカの日々)を映画として製作したのです。主演であるカレンにメリルストリープ、デニス役をロバートレッドフォード自身が演じて、ダイナミックで美しいアフリカの映像と共に、一人の女性のけなげさや強さを描いた余韻のある名画となりました。この映画公開が契機となり作家カレンブリクセンはアメリカや母国デンマークだけでなく今日20世紀を代表する女性作家として広く世界に知られるようになったのです。

ルングシュテットルトのカレンの実家を訪ねると、ささやかな(しかし食べ物のおいしい)カフェ、カレンにまつわる写真、出版物、グッズなどをそろえたショップの他に、カレンが執筆を行った部屋をはじめアフリカから帰った彼女の人生の軌跡が展示されています。もちろん彼女の生涯の恋人であった、デニスのポートレートも。

記念館を見た後に、池のある裏庭から続森への道をたどってみるとよいでしょう。

記念館の展示を見た人も、そうして訪ねるひととて多くは無いのですが、静かな森の中の道を5分ほど歩くとカレン自身が眠る墓があります。森の木立がそこだけ小さな空間に開かれていて、地面に一枚のとてもシンプルな(ですが彼女の等身大のかかなり大きな)墓石。表面には生年や、事績等の表記は一切なく、ただ KAREN BLIXEN とだけ刻まれています。



森の静寂の中でシンプルすぎるとも感じられる墓石に対峙すると、この孤高の女性作家のこころと生き方を感じる事が出来るかもしれません。

いつかデンマークに旅する時、どこか記憶に留めておいていただけたならと今回お届けするニュースレターで御紹介させていただきました。



NPO主催2013年デンマーク 短期留学IPCサマーコース

今年初めて主催しましたデンマーク短期留学IPCサマーコース
IPCはヘルシンゲルに位置し広大な敷地内には教室・ホール・寮など一
体化された建物や、湖などがあります。当NPO会員の方を中心に8名の方
が参加し7月7日～28日までの3週間、英語はもちろんのこと・デンマークの
文化・教育・歴史・社会・デザインなど世界各国の人達と共同生活し触れ合
いながら、たくさんの方の事を学び経験をしました。



～デンマーク短期留学サマーコースに参加して～

コペンハーゲン大学や協会など、デンマークデザインの近代的な建物、ボートに
乗ってオペラハウス、ニューハウンを見学、北シラン島の課外活動では、湖上
に浮かぶフレデリクスボロ城や、ルイジアナ美術館なども見学しました。英語を学
ぶだけでなく、デンマークの文化に触れ、様々な国の参加者と交流し、見解を広
めることができました。(E. K)

英語初心者で初めての留学には不安も多くありましたが、日本から一緒に参加できた
事でとても心強く、また快適な気候の中で有意義な3週間を送ることができました。夏
は白夜で10時過ぎまで明るいので、授業が終わった後にも希望者でスポーツの試合
が行われたり、ビックホールで映画が上映されたりとイベントも多くありました。食事
もキッチンスタッフが常駐し、手作りでいただける食事はバリエーション豊かでとても好評で
した。時にはデザートもあり、食事の時間が楽しみの一つでもありました。寮の部屋は、
ダブルルームで他国の参加者と会話も楽しむことができます。宿題に協力してもらった
り、デンマークの観光スポットを教えてもらったりいろいろ助けてもらいました。休日には
スウェーデンやコペンハーゲンまで観光も楽しむ事ができ、デンマークに興味を持って
いる方には、ぜひお勧めしたいカリキュラムです。(K. Y)



～食と暮らし研究会から今後の活動予定～

Year end Party ~Let's have a Good time~

デンマークの食と暮らし研究会会員の皆様、今年一年研究会活動に参加いただきましてありがとうございました。今年最後の活動はYear end Partyです。慌ただしい年末ですが皆様と素敵な時間を過ごせる事を楽しみにご参加お待ちしております。

日 時 2013年12月26日(木) 18:00～20:00
場 所 PRONTO 日本橋3丁目店
参加費 5000円 法人会員・個人会員
〈非会員の方は当日ご入会(別途入会金1000円)となります〉
参加申込みはデンマーク農業理事会内 デンマークの食と暮らし研究会
FAX 03-3213-5406または、info@danishforum.jp
お問い合わせは TEL 03-3213-4801 デンマークの食と暮らし研究会



お誘い合わせの上たくさんの方のご参加をお待ちしております。

デンマーク真冬のツアー4泊6日



2014年2月9日～14日(予定)

真冬の厳しい寒さと日照時間が短く暗い北欧、この時期でしか味わえないデンマークを訪れて寒さ暗さ、冬のデンマーク生活を体験してみませんか？

詳しい内容は決まり次第追ってメールまたは郵送にてご案内いたします。又はホームページをご覧ください。

2014年度デンマーク短期留学 International People's College



IPCサマーコースを募集いたします
日程2014年7月6日～7月26日

詳しい内容、費用は未定です。
ホームページに2013年度の募集要項、カリキュラムを載せております。